

## 9

## グラウンドゴルフ【自主活動】

## 1 活動のねらい

仲間と協力し、創意工夫しながら競技を楽しむことで、グループ内でのコミュニケーションの促進を図り、親睦を深めることができます。

## 2 活動の概要

年齢を問わず、手軽に楽しめる軽スポーツであり、ゴルフの雰囲気も味わえます。

専用の木製クラブでボールを打ち、ホールポスト（金属の輪）に、いかに少ない回数で入れられるかを競うゲームです。



## 3 人数・時間・場所

- (1) 人数 36名（4人×9班）
- (2) 期間 5月上旬～10月下旬
- (3) 時間 2時間
- (4) 場所 交流の家周辺（つどいの広場に集合、スタート）

## 4 指導について

活動は、団体の自主活動となります。はじめての場合、別紙「競技方法とルール」を参考に、事前指導を行うことにより、円滑な活動ができます。依頼があれば指導は可能です。

## 5 事前準備

区分	内容	備考
団体	・筆記用具（班毎）	
交流の家	・コース図、スコア表 …事務室 ・クラブ、ボール等 …車庫前	・グラウンドゴルフ物品貸し出し票に記入（事務室）

## 6 引率者の役割分担

係名	役割
責任者	・1名 責任者として、全体の総括、指揮、連絡にあたる
パトロール係	・数名 コースを巡回し安全と事故防止に努める

## 7 活動の流れ

活動の流れ	内容
物品借用	・代表者が、コース図、スコア表、用具台車（ゴール、クラブ、ボール）、を借用
ルール説明	・代表者がスタート地点で、ルール、安全管理について全体説明
活動開始	・競技（パトロール係は巡回指導）
活動終了	・全員ゴールを確認し、事務室へ報告（用具台車は、車庫へ） ・職員立ち会いのもと、借用物品の確認、返却

## 8 実施上の留意点

草むらや林の中では、危険箇所や危険な動植物に十分注意してください。

## グラウンドゴルフの進め方

- 1 9ホール合計打数が最も少なかった人が勝ちになる「ストロークプレイ」を行います。
- 2 クラブのヘッドの平らな面で、ボールを打ちます。押し出しやかき寄せはいけません。空振りも、1打と数えます。  
\*第1打は、それぞれのホールの表示があるところから打ちます。
- 3 打ったボールがホールポスト内で静止すればホールインとなります。各ホールとも第1打がホールポスト内で静止すればホールインワンとなります。この場合、ボーナス得点として全ホールを回り終えたあとの合計打数から「3」を引きます。
- 4 最初に決めた打順（じゃんけん等）で1打目を打ち、2打目以降はホールから遠い順に打ちます。（2打目でも他の人の1打目より遠い場合、先に3打目を打ちます）  
打ったボールが当たると危険なので、自分のボールが先にあっても、遠い人が打ち終わり、自分の順番になるまでは打つ人の後方で待ちます。
- 5 次のホールでは、前のホールで一番打数の少なかった人から順に打ちます。前のホールの打数が等しい場合は、前のホールで先に1打目を打った人が先になります。  
（例）1ホール目は、ABCDの順に打ち、A（5打）、B（6打）、C（5打）、D（4打）でした。2ホール目の1番手は、打数の少ないD。次はAかCになりますが、1ホール目でAが先に打っているため、A、C、Bの順で続きます。
- 6 自分が何打でそのホールを終えたか（ホールアウト）は、自分でしっかりと覚えておき、グループ全員がホールアウトした時に、スコアカードに記入します。
- 7 次のホールでプレイする時は、別のグループがそのホールでプレイを終えていることを確認してからにします。
- 8 アウト・オブ・バウンズ（OB：コース外にボールが出ること）の場合は、それまでの打数に1打を加え、元の場所から打ち直します。プレイできる場所は、芝生の上だけです。
- 9 アンプレイアブル（植え込みの中に入るなど、プレイが不可能）の場合は、ボールを手で拾い上げ、それまでの打数に1打を加え、ホールに近づかないようにスティックの長さの範囲内にボールを置き直してプレイを続行します。
- 10 打ったボールが他のボールに当たった場合、打ったボールはその止まった場所から、当てられたボールは元の場所に戻してプレイを続行します。
- 11 他のボールが妨げになる場合、ボールの持ち主に告げ、打ち終わるまでそのボールを持ってもらいます。妨げになるボールの持ち主は、コインなどで自分のボールの場所をマークしておきます。  
\*妨げになるボールがゴールのすぐそばにある時は、先に打ってもらってもかまいません。
- 12 ボールの後方の障害物（木の枝や石）は除去できますが、ボールの前方の障害物は、他のプレイヤーのボール以外は動かすことができません。